

基礎看護学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 3単位
- 2 実施日時 令和4年 月 日
- 3 学級 ○HR (○名)
- 4 使用教科書 高等学校用基礎看護(文部科学省)
系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ(医学書院)

5 単元(題材)名 (3)日常生活の援助 キ 清潔と衣生活

6 単元設定の理由

5年一貫過程の1年生である生徒たちは、学び始めた看護への興味・関心が高く、自己の明確な進路実現のため、前向きに一生懸命努力することができている。2学期に入り学校生活にも慣れてきている時期であるが、入学当初の気持ちを大切に、学びへの意欲を維持・向上させることができるような関わり、指導が重要だと考える。

身体を清潔に保つことは、生理学的にも日常生活習慣においても欠かすことができない。しかし、活動耐性の低下や麻痺などの障害、治療上の制約から、患者は自分自身で自由に清潔を保つことができない場合がある。その際には患者の状態によって入浴や部分浴、清拭などの方法を選択する判断基準を考え、病状の悪化を防ぐ必要がある。そこで、清潔援助を行う基礎知識と基本的な技術を身に付け、ただ援助方法を理解するだけでなく、患者の状態を踏まえた方法選択の視点や看護の必要性を考えさせたいと思い、本単元を設定した。

また、生徒には一人一台タブレットの活用を行い、少しでも患者の状態をイメージしやすいよう視覚的な教材の充実を図っていく。挙手をして発言することが難しい生徒も、タブレットを使用することで意見交換や協同的な学習ができることを期待し、活用する。

7 単元の目標

- (1) 清潔の意義と全身の清潔保持の必要性について理解するとともに、清潔に関する技術を身に付ける。
- (2) 清潔行動や習慣に影響を及ぼす心身の状態や環境因子及び清潔の援助について課題を発見し、科学的根拠を明確にした上で実施上の留意点を考えたり、援助を受ける立場で考えたりするなどの活動を通じ、解決策を見いだす。
- (3) 清潔の援助方法について自ら学び、対象の状態に応じた援助方法を考え実施する活動に、主体的かつ共同的に取り組む。

8 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
入浴の意義と全身の清潔保持の必要性について理解するとともに、入浴に関連する技術を身に付けている。	安楽な入浴の援助を目指して課題を発見し、科学的根拠を明確にした上で実施上の留意点を考えたり、援助を受ける立場で考えたりするなどの活動を通じ、解決策を見いだしている。	入浴の援助方法について自ら学び、対象の状態に応じた援助方法を考え実施する活動に、主体的かつ共同的に取り組もうとしている。

9 指導計画

- 第一次 身体の清潔と援助の目的とポイント・・・2時間(本時2/2)
- 第二次 入浴と看護・・・1時間
- 第三次 部分浴・・・5時間

時間	ねらい・学習活動	評価の観点		評価の方法
		観点	評価	

第一次	皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の意義と全身の影響を理解する。	知	○	ワークシート 観察
第二次	清潔援助の方法選択の視点を理解する。	思	○	ワークシート 観察
第三次	部分浴についての知識・技術を身に付ける。	知	○	ワークシート 観察

1 0 本時の目標

- ・清潔援助の効果を理解する。
- ・患者の状態に応じた清潔援助の方法選択の視点や看護の必要性を考えることができる。

1 1 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 (5)	・本時の学習内容について理解する。	・本時の目標、学習内容について説明する。		
展開 (40)	・清潔援助の効果について理解する。	・解剖学的な知識を交えて、日常生活と関連させながら少しでも生徒がイメージできるよう根拠を持って説明する。	[知識・技能] 清潔援助の効果について説明することができる。	観察
	<p>・1事例の患者に対し、適切な清潔援助は何か考え、MetaMoji に記入する。</p> <p>・1事例の患者に対する適切な清潔援助をグループで考え MetaMoji にまとめる。</p> <p>・Forms でクラスの入浴の実態を把握する。</p>	<p>・まずはクラス全員で1事例の患者の状態に応じた清潔援助の方法選択の視点を確認し、MetaMoji に記入させる。</p> <p>・4人1組の5グループを作成し、患者の状態に応じた最適な清潔援助の方法を考え記入させる。</p> <p>・事前課題の清潔行動に関する Forms でのアンケート結果を電子黒板に提示し、個性（その人らしさ）を尊重することの大切さを伝える。</p>	<p>[思考・判断・表現] 患者の状態を踏まえながら、グループで協力して意見を出し合いまとめることができる。</p> <p>[思考・判断・表現] 患者の立場に立とうと自ら考え、表現することができる。</p>	<p>観察 発表資料 (MetaMoji)</p> <p>観察 発表資料 (MetaMoji)</p>
まとめ (5分)	・本時のまとめを聞き、振り返りを行う。	・本時の内容を振り返らせる。		